

平成18年12月14日

〒590-0494
京都大学原子炉実験所
助手・小出裕章様

〒177-0041 4-25
蒼天社政治情報センター
代表・石川鐵也



論 議 追 加 書

過日は時間にかまけ申し訳ありませんでした。熟読した結果を、平成18年12月8日第585-31-29494-2号配達記録郵便での公開論議書に追加させていただきます。ご面倒とは存じますが、ご配慮のほど宜しくお願い申し上げます

— 記 —

8. 小出さんの主張「質問状に対して私は回答を送りましたが、その回答では不満だという石川さんから、以降も質問状が届き、すでに5回にわたってやりとりを続けています。そのやりとりは、今後もまだ続くかもしれません。このような論争にどれだけの価値があるか、私自身は首をかしげていますが」云々について

小出さん。ネットで愚痴る前に、自身の回答書を読み直してください。最初の回答書には、「なお、私はいかなる議論も歓迎します。再度のご質問があればもちろんお答えします」と記されておりますし、次回のお返答でも、「今後もご質問があればお答えします」とわざわざ付記されているのです。

しかし、その後は、「私はいかなる議論でも歓迎しますので、ご質問があればお答えしたいと思います」と記しながら、「ただ、議論が次々と拡散・・・」「今後もしもご質問があればお答えしますが、議論が繰り返しになったり（小出さんの回答が繰り返しに）・・・」などと、予防線を張られているように感じてなりません。本来なら、3回目で公開論議書とする予定でしたが、つい小出さんの主張に付き合ってしまった。質疑は、小出さん自身の要望であったという事実も認識いただければ幸いです。

9. 小出さんの主張「石川さんの言う『外交の要諦』はかって日本が世界の強国になろうとしてアジア諸国を侵略したのと同じ論理です」について

小出さんは誤解されているようですね。私は、資源を有する国が外交手段として活用している、と述べているのです。故に、「資源輸出国の思惑次第で日本のエネルギー事情が左右されることになる無責任論」と記したのですが、一体どの部分がアジア諸国を侵略したのと同じ論理に該当するのでしょうか。

10. 小出さんの主張「（失礼。こういうやり取りはお互いの品性が下劣になりそうでよくないですね・・・）もし、石川さんが私の回答が『質より量』だと思われるのであれば、お読み下さらなくてもいいと思います」について

「後悔先に立たず」といった小出さんの思いが伝わってきます。

以上